熊本県博物館情報誌

Muse ミューズ kumamoto

2021-2022
Vol.5
秋・冬

博物館の資料は物語る

[見どころ紹介]
熊本県伝統工芸館・
島田美術館
熊本県博物館
ネットワークセンター

[コレクション紹介]
松井文庫驥斎

[博物館のお仕事]
くまもと文学・歴史館

[博物館紹介]
熊本国際民芸館・星野富弘美術館

※新型コロナウイルスによる休館の可能性があります。ホームページで確認してください。

松井文庫所蔵　唐物茶壺 銘 深山
(2ページに紹介記事あり)

見どころ紹介

MIDOKORO SHO-KAI

熊本県伝統工芸館

期間：2021年9月14日（火）～11月28日（日）
毎週月曜日休館、入館料無料（企画展のみ観覧料210円）　9:30～17:30

熊本県伝統工芸館・熊本国際民藝館交流展 民藝 ここちよい暮らし

茶碗、湯呑、盆、椅子、玩具など暮らしの中で使う道具に美を見出した思想家、柳宗悦。柳はそれまで美の対象として顧みられることのなかった、無名の職人たちが作る民衆の日常品の中に「健康な美」「平常の美」といった美しさを見出し、それらの品々を民衆的工藝＝「民藝」と名付けました。

本展では、熊本市にある熊本国際民藝館等のコレクションを中心に日本の民藝の品々をご紹介します。小代焼や小鹿田焼・小石原焼・壺屋焼などの陶磁器、染織品、竹細工、漆器といった伝統を受け継ぐもの、民藝の思想をもった作家の品など約180点を展示します。

自宅で過ごすことが多くなったいま、改めて、身近な生活の中にある「暮らしの美」を見出し、楽しんでいただきたいと思います。

壺屋焼 抱瓶（沖縄県）

飯碗籠（広島県）

島田美術館

期間：2021年9月9日（木）～12月26日（日）
毎週火曜・第2第4水曜休館（祝日の場合は開館）　10:00～17:00

赤穂事件×肥後熊本×新刀

関ケ原合戦からおよそ100年、元和偃武となった世に、46人の切腹を命じられた事件が起こりました。のちに「仮名手本忠臣蔵」という浄瑠璃のテーマにもなった「赤穂事件」です。

熊本は、江戸や現在の兵庫県赤穂市から遠く離れているにもかかわらず、赤穂事件と浅からぬ関わりをもっています。ひとつには浪士中最年長の堀部弥兵衛金丸の親族数家が熊本細川家に出仕していたこと。もう一つは、首領大石内蔵助良雄ら17人の浪士たちが細川家に預けられ、江戸の細川家下屋敷で切腹したという事実です。

本展では、肥後熊本の堀部家に伝わった史料を中心に、今なお忠臣蔵として親しまれる赤穂事件と肥後の宿縁をご覧ください。あわせて、事件のあった時代を映すものとして「新刀」と呼ばれる近世的新様式の刀剣をご紹介します。

御預人切腹図

入館料：一般700円　大高生400円
小中生200円
＊保護者同伴小学生は無料

熊本県博物館ネットワークセンター

期間：2021年10月26日（火）～12月26日（日）
毎週月曜日休館（祝日の場合翌平日）入館料無料　9:00～17:00

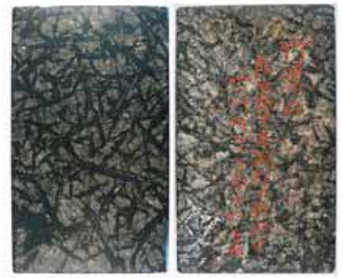
くまもとの地質（宇城市周辺の地質）

地質の紹介を通して、熊本の土地の成り立ちや生活とのかかわりについて関心をもてる展示です。今回は宇城市周辺にスポットを当てて紹介します。

宇城市とその周辺は、宇土半島から九州山地の北部にかかる地域で、地質的に変化に富んでいます。その西部には古い火山が、北部には恐竜の化石を含む地層が、東部には地中深くでできた岩石が見られます。また不知火海側では、干潟や干拓地を見ることができます。

展示物には、さまざまな化石や岩石、鉱物の標本があり、昭和天皇の熊本行幸（1931年）の際に供されたいわゆる天覧標本（当時物）も予定しています。

本展示会を通して、郷土熊本の自然や歴史を再確認し、愛着を深めていただけたら幸いです。


天覧標本（竹葉石）

コレクション

唐物茶壺 銘 深山（松井文庫驥斎）

唐物茶壺とは、中国南部で焼かれた耳付きの壺で、喫茶の伝来とともに日本に伝わり、主に葉茶を入れる壺として用いられました。この壺は、松井家初代康之が豊臣秀吉から拝領したと伝えられ、蓋の裏に千利休の花押があることから、利休が鑑定した可能性も考えられます。「深山」という銘は、胴部をめぐる波状の線刻が山々の連なる景色に見えることに由来するのでしょう。文禄2年（1593）11月、秀吉は数々の戦いで手柄をあげた康之を召し出し、石見国半国（現在の島根県西部）18万石を与えて大名に取り立てようとしますが、康之は細川家への忠誠からこれを固辞。その志に感心した秀吉は、茶の湯好きの康之に「深山」の茶壺を与えたと「松井家譜」に記されています。天下人も一目置いた松井家の歴史と茶の湯との関わり、当時の茶道具が領地に匹敵する価値を持っていたことを物語る逸品です。

施設紹介 松井文庫驥斎

所在地　熊本県八代市北の丸3-15
TEL / FAX　0965-33-0171
開館時間　9:00～17:00（入館は16:30まで）
休館日　月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）、お盆、年末年始
入場料　大人500円（450円）　小中学生250円（225円）
＊（ ）内は30名以上の団体料金

松井家伝来の古文書並びに絵画書跡・陶磁器・武器武具・能面能装束等の美術工芸品は、八代や熊本のみならず、わが国の歴史・文化を知る上で大変貴重な文化財であることから、これらを永く保存・公開し、学術・文化の発展に寄与するため、13代松井明之氏が昭和59年に財団法人松井文庫を設立。事務局・展示室は国指定名勝「旧熊本藩八代城主浜御茶屋（松浜軒）庭園」内にあり、年間4期の展示替により所蔵品を常設展示しています。

博物館のお仕事

資料保存のお仕事

水前寺公園から江津湖へと流れていく透明な湧水、加勢川。熊本県立図書館はそのほとりに建っており、1階にくまもと文学・歴史館が入っています。水と緑あふれるこの自然の中で、資料を展示・保存していくために私たちは日々格闘しています。

資料の保存環境で気を付けるべき事がらとしては①温湿度、②光、③空気環境、④生物被害などがありますが、今回はとくに生物被害、中でも〝虫〟の話をいたしましょう。当館には紙の資料がたくさんありますが、紙を食べる虫がいるのをご存じですか。

博物館資料や文化財を食べたり汚したりしてしまう虫たちのことを「文化財害虫」と言います。2㎜の小さなチャタテムシ、本をなめまわすように食害するシミ、たくさん食べて周囲も汚すゴキブリ……。手入れの行き届かない書庫のなかで、いつの間にか大量発生した虫たちが資料の価値を落としてしまう……そんなホラーがあり得るのです。

文化財害虫による被害を未然に防ぐため、当館では季節ごとにトラップを置いて館内に現れる虫を捕獲し観察します。当館の職員は文学や歴史が専門ですが、みんなで虫についても勉強し、顕微鏡を覗いて対策を考えています。

資料の保存環境に関する取り組みのなかで、害虫対策はほんの一例です。資料を大切に守り続け、数十年後、数百年後でも、できるだけ今と変わらない姿を残していけるよう努めています。未来の熊本の人ががっかりしてしまうようではいけませんからね。（主任学芸員　片桐まい）

捕獲した虫を観察する様子

展示室から眺める旧砂取細川邸庭園

施設紹介 くまもと文学・歴史館

所在地　熊本市中央区出水2丁目5番1号
TEL　096-384-5000（代表）
開館時間　9:30～17:15
休館日　火曜日／毎月最終金曜日／年末年始（12月28日～1月3日）／特別整理期間（12月14日～21日）
入場料　無料

くまもと文学・歴史館は、平成28年1月に開館しました。前身である熊本近代文学館が収集してきた文学資料に加え、熊本県立図書館が所蔵する古文書などの歴史資料を展示しています。

熊本には、多彩な歴史を背景としつつ、阿蘇や天草に代表される豊かな風土に育まれた文学が数多く残されています。文学や歴史は地域を知るための道しるべです。先人のたゆまぬ努力により今に伝えられた資料から、ふるさと〝くまもとの記憶〟をたどります。

熊本国際民藝館

概要・特徴

熊本国際民藝館は、初代館長、外村吉之介(とのむらきちのすけ)氏の、九州・熊本の地を「民藝運動」の拠点にしたいという理念に基づき、昭和40年(1965)5月に開館し、本年をもって56年を迎えました。

外村吉之助は大正15年(1926)に柳宗悦(やなぎむねよし)、河井寛次郎(かわいかんじろう)、浜田庄司(はまだしょうじ)らによって提唱された民藝(民衆的工芸)の精神を受け継ぎ、民藝思想を実践する担い手として国内外の様々な民芸品の収集、保存に情熱を注ぎました。

名も無き職人の手から生み出された生活道具に中にある健全な美しさと手仕事文化を理念として掲げ、その風土から生まれた生活道具、そして、その自然から生まれた素材や生活習慣を見つめていく民藝の精神は、今も多くのことを学ぶことができます。

また、緑豊かな熊本市北区龍田地区たたずむ民藝館は、岡山県の酒造蔵が移築されたものです。そのたたずまいは、来館者の心に安らぎと安堵感をもたらし、本来の日本人の民衆の生活を振り返らせてくれます。

常設展示

当館の2階常設展示室には、外村吉之介が国内、海外を自分自身で歩いて収集した陶磁器・漆、染織品、竹籠、ガラスなど、また、外村自身が愛用していた椅子やテーブルなどの家具が展示されています。

2階展示室の様子

おすすめ　収蔵品

昭和30～50年代に作られていたアジア、中東地域の玩具や国内のガラスの数々、また、漆が塗られた食器など日々の暮らしの中で使われていた道具など熊本では見ることができない民藝品が見所です。

熊本国際民藝館　建物

今後の予定

令和４年1月5日（水）～3月31日（木）の日程委細で、外村吉之介の生涯〈染織〉を開催予定にしています。会期中はギャラリートークなどを開催します。

現在開催中　企画展

外村吉之介の生涯　その2 海外の民藝
令和3年9月1日(水)～11月30日(火)

ギャラリートークの様子

公益財団法人　熊本国際民藝館
〒861-8006　熊本市北区龍田1丁目5-2
ＴＥＬ 096-338-7504　FAX 096-274-2020
開館時間　10:00～16:00
休 館 日　月曜日休館(祝日の場合翌火曜日)(企画展がない場合は、休館)
入 館 料　一般400円　学生300円　(小中学生以下無料)

芦北町立星野富弘美術館

星野富弘

1946年、群馬県勢多郡東村（現みどり市東町）に生まれる。大学を卒業後、中学校の体育教師になるが、クラブ活動の指導中に頸髄を損傷、首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。1982年、初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地また海外でも開催され、現在も続いている。

1991年、群馬県東村に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

概要・特徴

「星野富弘　花の詩画展」が、1994年の熊本県立美術館での開催を境に再開されます。それが契機となり、「星野富弘詩画がある芦北ふるさとギャラリー」が芦北町に開設。以後交流が続くなかで、富弘美術館の唯一の姉妹館として、2006年に「芦北町立星野富弘美術館」が誕生。当館は、星野富弘の詩画作品を常設展示しています。星野の描く「いのちの尊さ・いのちの輝き」を感じていただければと思います。

おすすめの収蔵品　作品名:ペンペン草

この作品は、星野が入院して9年目の年に制作されました。その間、看護でほとんど家に帰れず、ベッドの脇に置かれた簡易ベッドで寝泊まりをしていた母。辛そうに自分で肩を叩いている姿を見た星野は、「肩がこっているんだなぁ、疲れているんだろうなぁ」と、看護疲れをいたわります。ある時、母に車椅子を押してもらって散歩していると、風に揺れるペンペン草が目に止まり…。

そうした中で生まれたのがこの作品です。田畑や道端に生えるナズナ。星野の故郷ではペンペン草と呼びます。星野が入院するまでは、雑草を抜き、田畑を耕していた母。母の思い出、道端に咲く雑草のナズナ、そして自らの経験によって生まれた詩がみごとに調和した、星野の最も代表的な作品です。

常設展示

当館では、星野富弘が四季折々に咲く野の花や草木などを題材に描いた詩画作品を紹介する季節の常設展に併せて、テーマを設定し作品を特集展示する特別展を開催しています。また、詩画公募展を毎年実施し、その入賞作品展を開催しています。

今後の予定

開館15周年を記念して、10月12日（火）から、特別企画展「杲（ひので）」を開催します。姉妹館である富弘美術館の特別協力により、星野富弘の貴重な水彩原画（全て当館初展示作品）に加え、関連資料を一堂に展示します。星野富弘<花の詩画集>最新刊『足で歩いた頃のこと』（偕成社）に収録された近作を中心に、2005年以降に制作された作品群を併せて紹介します。

様々な境遇を乗り越え、今を生きることから生まれた作品の数々を、この機会にどうぞご鑑賞ください。

芦北町立星野富弘美術館
〒869-5563　熊本県葦北郡芦北町湯浦1439番地2
TEL/FAX 0966-86-1600
開館時間　9:00～17:00まで
休 館 日　毎月第２・４月曜日（祝日の場合は翌平日）年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
入 館 料　一般500円／小中学生300円／幼児無料　※団体他割引有り　www.hoshino-museum.com

展示・イベント情報（2021年10月～2022年3月）

※掲載している情報は発行日時点のものです。
最新の情報は各館のホームページ等で御確認ください。

［県央］

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 熊本県立美術館（本館） 熊本市中央区二の丸2番地 ☎096-352-2111 開館時間／9:30～17:15（入館は16:45まで） 休　館　日／月曜日（祝日の場合は翌平日） 観　覧　料／◆本館2階展示室 一般280円、大学生170円 ◆別棟展示室 一般210円、大学生130円 ◆本館2階及び別棟展示室の共通券 一般430円、大学生260円 ※高校生以下及び障がい者手帳をお持ちの方無料 ※特別展観覧料は展覧会毎に異なります。		よくわかる「工芸」のみかた ―細川家の古美術鑑賞"入門編"（9/23～12/24）				
		春を寿ぐ ―ひとあし早い春を美術館で感じてみませんか？ （1/8～3/13）				
		細川コレクションのあれこれ ―学芸員のイチオシ（1/8～3/21）				
			海老原美術研究所設立70周年記念 エビハラがいた時代：1945-1976（2/25～3/30）	一般:1,100円 大学生:900円		
			ミュージアムセミナー（2/26、3/5〈14:00～15:00〉）			
			障がいのある方々のための鑑賞デー（2/28〈9:30～17:15〉）	要観覧料 障がい者手帳をお持ちの方は無料		
② 熊本市現代美術館 熊本市中央区上通町2-3 びぷれす熊日会館3階 ☎096-278-7500 開館時間／10:00～20:00 休　館　日／毎週火曜日（祝日の場合は翌平日） 年末年始（12/29～1/3） 入　館　料／無料 ※有料の企画展のみ観覧料が必要			大人1,100円 学生600円	こわいな！恐怖の美術館（9/25～12/5）		
			第33回熊本市民美術展 熊本アートパレード （12/18～1/23）	無料		
				塔本シスコ展 シスコ・パラダイス（2/5～4/10）	有料	
③ 熊本県伝統工芸館 熊本市中央区千葉城町3-35 ☎096-324-4930 開館時間／9:30～17:30 休　館　日／毎週月曜日（祝日の場合、その次の平日） 入　館　料／無料（企画展のみ観覧料210円）			210円	民藝 ここちよい暮らし（9/14～11/28）		
			無料	第39回くらしの工芸展2021（11/2～11/7）		
			収蔵品展「郷土玩具展」（12/14～2/20）	210円		
					匠の技と心展Ⅳ（3/8～）	210円
④ くまもと文学・歴史館 熊本市中央区出水2丁目5番1号 ☎096-384-5000 開館時間／9:30～17:15 休　館　日／火曜日（祝日の場合は翌日休館日） 毎月最終金曜日 特別整理期間（12/14～12/21） 年末年始（12/28～1/3） 入　館　料／無料			無料	企画展 かたくなにみやびたる ―蓮田善明と『文藝文化』―（10/14～12/5）		
			収蔵品展 アーカイブズに見るくまもと18 ◆歴史：激闘の記録、西南戦争の絵図 ◆文学：生誕150年 渋川玄耳と篠原温亭 （1/5～2/28）	無料		
			無料	特別展 文学と歴史でたどる江津湖の記憶（仮） （3/17～5/23）		

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑤ 熊本博物館 熊本市中央区古京町3-2 ☎096-324-3500 開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで） 休　館　日／毎週月曜日（祝日の場合はその次の平日） 入　館　料／一般400円、高校・大学生300円、小中学生200円		入場料	秋季企画展 未来へつなく植物の記録 ―令和2年7月豪雨で被災した前原勘次郎の植物標本―（10/2～11/28）			
			熊本市遺跡発掘速報展 （12/11～2/6）	入場料		
			企画展「能楽伝承―熊本の能文化―」 （12/18～2/13）	入場料		
				館蔵品展 「くまはくコレクション 肥後のやきもの」 （3/12～5/8）	入場料	
			子ども科学・ものづくり教室 小・中学生 事前申込制 ※毎月数回開催予定 詳細は熊本博物館ホームページをご確認ください			
⑥ 肥後の里山ギャラリー 熊本市中央区練兵町1番地 肥後銀行本店1階 ☎096-326-7800 開館時間／9:30～16:30 休　館　日／日曜日・祝日・年末年始 入　館　料／無料		無料	永青文庫展Ⅵ 仙厓 細川護立禅画コレクション （10/11～11/27）			
			熊本の現代作家展Ⅶ 松木良介展 くらしと街のデザイン（12/20～2/19）	無料		
			無料	熊本の水と緑展Ⅵ 湧水潤う水辺 水前寺・江津湖―水が育む風景と歴史遺産―（3/19～5/7）		
			里山ギャラリー歴史・文化講座 仙厓～無法の禅画～（要事前申し込み） （10/2、13:30～15:00）	無料		
				里山ギャラリー歴史・文化講座 出水・水前寺・江津湖地域の歴史2500年 （要事前申し込み） （2/26、13:30～15:00）	無料	
				里山ギャラリー歴史・文化講座 熊本水前寺地区の武家庭園と九州の大名庭園の魅力 （要事前申し込み） （3/5、13:30～15:00）	無料	
⑦ 島田美術館 熊本市西区島崎4-5-28 ☎096-352-4597 開館時間／10:00～17:00 休　館　日／火曜定休・第2第3水曜 展示替え期間 入　館　料／一般700円、大・高校生400円、小・中学生200円			一般700円 大高生400円 小・中学生200円	赤穂事件×肥後熊本×新刀（9/9～12/26）		
⑧ 熊本市塚原歴史民俗資料館 熊本市南区城南町塚原1924番地 ☎0964-28-5962 開館時間／9:00～16:30 休　館　日／月曜日（祝日の場合は翌日） 入　館　料／高校生以上200円 小中学生100円				真熊151会～郷土の偉人上塚真熊の生涯～ （12/21～2/27）	通常入館料	
				学芸員と歩く野外博物館～秋～（10/10〈9:00～12:00〉）		
				土器づくり教室～秋～（成形・焼成） （10/31、11/20〈10:00～12:00〉）		
				押し花のハガキを作ろう （2/23〈10:00～12:00〉）		
				古代織体験教室 （12/12〈10:00～12:00〉）		
				※イベントはすべて事前申込制です ※要入館料	オリジナル埴輪づくり教室 （1/30、2/26〈10:00～12:00〉）	

展示・イベント情報（2021年10月～2022年3月）

※掲載している情報は発行日時点のものです。
最新の情報は各館のホームページ等で御確認ください。

［県央］

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑨熊本国際民藝館 熊本市北区龍田1-5-2 ☎096-338-7504 開館時間／10:00～16:00 休　館　日／月曜日（月曜日休日の場合は火曜日） ／4月・8月・12月 入　館　料／一般400円（学生300円小中学生無料）	一般400円 小中学生無料	外村吉之介の生涯 その2 海外の民藝 （9/1～11/30）				
		外村吉之介の生涯 その3 染織編 （1/5～3/31）		一般400円 小中学生無料		
		ギャラリートーク「染織とくらし」坂本尚文氏 （10/17、13:30～15:00）		入館料400円		
		ギャラリートーク「海外で出会ったもの」石﨑路子氏 （11/7、13:30～15:00）			入館料400円	
⑩熊本県博物館ネットワークセンター 宇城市松橋町豊福1695 ☎0964-34-3301 開館時間／9:00～17:00 休　館　日／月曜日（祝日の場合は次の平日）、 ／年末年始 入　館　料／無料	教科書に登場する動物たち （10/1～10/17）	無料				
		熊本の地質（宇城市周辺の地質） （10/26～12/26）	無料			
			ちょっと昔のくらし探検 （1/10～3/13）	無料		
					無料	海辺の植物 （3/21～5/22）
⑪宇城市立郷土資料館 宇城市豊野町糸石3818番地 ☎0964-45-2102 開館時間／10:00～17:00 休　館　日／月・木曜日（祝日の場合はその翌日） ／年末年始（12月28日～1月4日） 入　館　料／無料	企画展「不知火ものがたり」 （8/3～10/10）	無料				
		無料	不知火美術館コラボ展示 「うきの昔ばなし」 （10/15～12/26）			
				無料	企画展「月翁公が見た夢 細川興文と蕉夢庵」 （12/14～2/27）	
⑫益城町交流情報センターミナテラス 熊本県上益城郡益城町木山236 ☎096-286-3337 開館時間／9:00～18:00 ／（月曜日のみ17時まで） 休　館　日／臨時休館あり 入　館　料／無料	刻（とき）のかけはし　episodeⅡ （10/2～11/28）	無料				
		講演会「役場を掘る」講師：木庭真由子氏 （10/24、11:00～12:00）	無料			

［県北］

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑬玉名市立歴史博物館こころピア 玉名市岩崎117 ☎0968-74-3989 開館時間／9:00～17:00（入館は16:30まで） 休　館　日／月曜日および祝日の翌日、年末年始 入　館　料／一般300円、大学生200円、 ／高校生以下無料			入館料	玉名の弥生ライフ（10/30～2/13）		
	入館料	西依成斎展（9/18～10/17）				
				金栗四三展（2/26～3/13）	入館料	
			入館料	新収蔵品展（3/26～5/22）		
			昭和のくらし（10/2～2/27）	無料		
				特別支援学級児童・生徒合同作品展（2/4～2/13）	無料	
		西依成斎顕彰書道展（10/2～10/10）	無料			
			無料	こころピア書道展（11/6～11/28）		
				玉名の弥生ライフ講演会 （11/20〈14:00～16:45〉）	西南戦争戦跡めぐり 3/5〈9:00～17:00〉）	無料
		無料				
		無料	文化の日たんけん！博物館 （11/3〈9:00～17:00〉）			
		無料	土器にふれてみよう （1/15〈9:00～17:00〉）			
			「玉名の弥生ライフ」ギャラリートーク （12/4、18〈14:00～14:30〉）		無料	
⑭熊本県立装飾古墳館 山鹿市鹿央町岩原3085番地 ☎0968-36-2151 開館時間／9:30～17:15（16:45最終入館） 休　館　日／毎週月曜日（祝日の場合はその次の平日） 入　館　料／大人430円（300円） ／大学生260円（180円） ／高校生以下無料	入館料	企画展　写真で見る装飾古墳の世界Part2 「古代人が描いたよみの国の『ものがたり』」 （9/18～11/14）				
			入館料	企画展　装飾古墳を描く「池田勝則氏が描いた彩りの世界」（11/20～2/13）		
				企画展「（仮）勾玉展」 （2/22～5/8）	入館料	
⑮山鹿市立博物館 山鹿市鍋田2085 ☎0968-43-1145 開館時間／9:00～17:00（16:30最終入館） 休　館　日／月曜日（祝日の場合は翌日） 入　館　料／大人270円、高校生以下70円		山鹿の装飾古墳展（仮） （12/18～3/13）			大人270円 高校生以下70円	
⑯合志市歴史資料館 合志市福原2922 ☎096-248-5555 開館時間／9:00～16:30 休　館　日／月曜日（祝日の場合は翌平日） 入　館　料／無料	無料	特別展示「結びの糸・原田　茂 ～洋装への扉を開いた火の国の女～」（11/6～）				
	子ども歴史・科学体験教室 対象：合志市内小学生　事前申込制 日時：毎月1回開催予定 申込方法：合志市内小中学校に配布している申込用紙を提出					
⑰坂本善三美術館 阿蘇郡小国町黒渕2877 ☎0967-46-5732 開館時間／9:00～17:00 休　館　日／月曜日（祝日の場合は翌日） 入　館　料／一般500円、大高生400円、 ／小中生200円		有料	等価値ということ （9/11～12/12）			
		Black・ブラック・黒　黒のバラエティ （12/18～3/13）	有料			
				有料	動きと形　ー絵に見る画家の身体ー （3/19～6/12）	

展示・イベント情報（2021年10月～2022年3月）

※掲載している情報は発行日時点のものです。
最新の情報は各館のホームページ等で御確認ください。

［県南］

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
⑱八代市立博物館 未来の森ミュージアム 八代市西松江城町12-35 ☎0965-34-5555 開館時間／9:00～17:00 休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始（12/29～1/3） 入館料／一般310円（240円） 高大生200円（160円） ※（）は20人以上の団体料金			開館30周年記念・秋季特別展覧会 八代の歴史と文化30「妙見信仰と八代」 （10/22～11/28） 一般800円 高大生500円 中学生以下無料			
			企画展 「松井文庫Ⅱ道中風景絵巻～殿が立ち寄った観光スポット～」 （9/7～10/17） 一般310円 高大生200円 中学生以下無料			
			企画展 「松井文庫Ⅲ虎の絵と金屏風」 （11/30～1/16） 一般310円 高大生200円 中学生以下無料			
				企画展 「松井文庫Ⅳ小袖の美～武家女性の装い～」 （1/18～3/6） 一般310円（2/3まで）400円（2/4から） 高大生200円（2/3まで）300円（2/4から） 中学生以下無料		
					開館30周年記念・冬季特別展覧会 「お殿様のお気に入り～江戸土産の小物たち」（仮称）（2/4～3/13） 一般400円 高大生300円 中学生以下無料	
⑲松井文庫驥斎 八代市北の丸3-15 ☎0965-33-0171 開館時間／9:00～17:00 休館日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日） お盆、年末年始 入館料／大人500円、中学生以下250円						
					企画展 「武家の暮らし 文房具と香炉（驥斎展示室）／煎茶道具（第二展示室）」（9末～1末） 有料	
					企画展 「松井家の雛飾り（驥斎展示室）／松井家の茶道具（第二展示室）」（1末～4中旬） 有料	
⑳芦北町立 星野富弘美術館 芦北町湯浦1439-2 ☎0966-86-1600 開館時間／9:00～17:00 休館日／第2・4月曜日（祝日の場合は翌平日） 年末年始 入館料／一般500円 小中学生300円 幼児無料						
					開館15周年記念特別企画展 「杲」 （10/12～12/12） 一般500円 小中学生300円 幼児無料	
					企画展「かあちゃん」 （12/14～3/13） 一般500円 小中学生300円 幼児無料	
					第15回星野富弘美術館詩画公募展入賞作品展 （3/15～4/24） 一般500円 小中学生300円 幼児無料	
㉑湯前まんが美術館 球磨郡湯前町1834番地 ☎0966-43-2050 開館時間／9:30～17:00 休館日／12月28日～1月3日（年末年始） 入館料／大人300円（高校生以上） 子供（中学生・小学生）、未就学児無料						
					ギガタウン フロム テラタウン ～こうの史代の漫符図譜～ （10/1～12/19） 通常料金 ※7月～9月に開催予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により期間を10/1～12/19に変更しました。	
㉒山江村 歴史民俗資料館 球磨郡山江村大字山田甲1360 ☎0966-23-3665 開館時間／10:00～17:00 休館日／毎週月曜日 入館料／200円（150円） 高校生以下無料 ※（）は20名以上の団体料金						
					やまえのほとけ展 （10/15～12/12） 一般200円 高校生以下無料	

展示　イベント

施設名	10月	11月	12月	1月	2月	3月
㉓天草四郎ミュージアム 上天草市大矢野町中977-1 ☎0964-56-5311 開館時間／9:00～17:00 休館日／年末、年始（12/29～1/1） 施設点検日（1月及び6月の第2水曜日） 入館料／大人600円、小人300円			舞踊団「花童」定期公演 10/9、11/13、12/25,1/22 〈11:00～11:30、14:00～14:30〉 入館料			
㉔天草市立 本渡歴史民俗資料館 天草市今釜新町3706 ☎0969-23-5353 開館時間／8:30～17:00 休館日／毎週月曜日 （祝日の場合、後の最も近い平日） ※12月29日～1月3日まで 入館料／無料					企画展「天草のやきもの」 （1/29～3/2） 無料	
㉕天草市立 天草キリシタン館 天草市船之尾町19番52号 ☎0969-22-3845 開館時間／8:30～17:00（入館は16:30まで） 休館日／火曜日（祝日の場合は翌平日） 12/30～1/1 入館料／大人300円、高校生200円、小中生150円 天草市の学校に通学する小中高生は無料					天正遣欧使節と南蛮文化 （9/25～12/22） 入館料	
					天草四郎陣中旗特別公開展示 （11/1～11/7） 入館料	
					天草四郎陣中旗特別公開展示 （3/1～3/7） 入館料	
㉖天草市立 天草コレジヨ館 熊本県天草市河浦町白木河内175-13 ☎0969-76-0388 開館時間／8:30～17:00（入館は16:30まで） 休館日／木曜日（祝日の場合は翌平日） 12/30～1/1 入館料／大人200円、高校生150円、小中生100円 天草市の学校に通学する小中高生は無料					Amacusaと九州西岸のNAMBAN （12/3～2/28） 入館料	
㉗天草市立 天草ロザリオ館 熊本県天草市天草町大江1749 ☎0969-42-5259 開館時間／8:30～17:00（最終入館午後4時30分） 休館日／水曜日（祝日の場合は翌平日） 12月30日～1月1日 入館料／大人300円、高校生200円、小中学生150円 天草市の学校に通学する小中高生は無料						
					古文書から読み取る 大江の歴史展Ⅰ （10/14～12/14） 入館料	

くまもとミュージアムMAP

[県　央]

1. 熊本県立美術館
2. 熊本市現代美術館
3. 熊本県伝統工芸館
4. くまもと文学・歴史館
5. 熊本博物館
6. 肥後の里山ギャラリー
7. 島田美術館
8. 熊本市塚原歴史民俗資料館
9. 熊本国際民藝館
10. 熊本県博物館ネットワークセンター
11. 宇城市立郷土資料館
12. 益城町情報交流センター ミナテラス

[県　北]

13. 玉名市立歴史博物館こころピア
14. 熊本県立装飾古墳館
15. 山鹿市立博物館
16. 合志市歴史資料館
17. 坂本善三美術館

[県　南]

18. 八代市立博物館 未来の森ミュージアム
19. 松井文庫驥斎
20. 芦北町立星野富弘美術館
21. 湯前まんが美術館
22. 山江村歴史民俗資料館
23. 天草四郎ミュージアム
24. 天草市立本渡歴史民俗資
25. 天草市立天草キリシタン館
26. 天草市立天草ロザリオ館
27. 天草市立天草コレジヨ館

発行／
熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524　熊本県宇城市松橋町豊福1695
TEL：0964-34-3301　FAX：0964-34-3302

○記載事項は2021年9月時点で各館から提供された情報に基づいています。
○休館日は、掲載されたもの以外に、年末年始や展示替え期間などの休館があります。
○料金は、企画展、特別展が別料金の場合があります。
○その他、詳しくは各館のホームページ等をご参照ください。